

# 災害から身を守る

## ～地震・台風・土砂災害～

地震・台風・土砂災害などの自然災害は、時として、想像を超える力で襲ってきます。しかし、日頃から防災対策をしておくことで、被害を少なくすることはできます。防災対策で大切なことは、「自分の身は自分で守る」ことです。災害対策をしっかりしてもしもの時に備えましょう。



### 1 地震から身を守る

阪神・淡路大震災や新潟県中越地震などでは、多くの方が倒れてきた家具の下敷きになって亡くなったり、大けがをしたりしました。大地震が発生したときには、「家具は必ず倒れるもの」と考えて、防災対策をしましょう。そして次の5つのことに気を付けて家具を置きましょう。

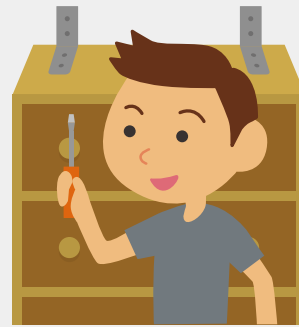
- ・避難の妨げとなる場所（出入口付近、廊下、階段など）には家具を置かない。
- ・寝室や幼児・高齢者がいる部屋にはなるべく家具を置かない。
- ・地震時の出火を防ぐため、火気の周辺に家具を置かない。
- ・家具の上にガラス製品など、落下すると危険なものは置かない。
- ・重いものを下の方に収納し、倒れにくくする。



被害想定イメージイラスト

### タンスの防災

床側をストッパーなどで固定し、天井側はポール式器具で固定。ポール式器具は、タンスの奥の方（壁側）で、天井や家具の硬いところに取り付ける。上下に分かれている家具は連結しておく。



### 食器棚の防災

Ｌ字型金具やワイヤーなどで壁に固定し、開き戸には開かないように留め金を付ける。ガラスにはガラス飛散防止フィルムを張る。



### 2 土砂災害から身を守る

① 住んでいる場所が「土砂災害警戒区域」なのか確認する

土砂災害のおそれのある地区は「土砂災害警戒区域」や「土砂災害危険箇所」とされています。普段から自分の家がこれらの土砂災害のおそれのある地区にあるかどうか、岐阜県や国土交通省砂防部のホームページなどで確認しましょう。

② 雨が降り出したら土砂災害警戒情報に注意する

土砂災害警戒情報は、気象庁ホームページや岐阜県の砂防課などのホームページで確認できます。その他にテレビやラジオの気象情報でも発表されます。大雨による電波障害や停電などいざというときにのために携帯ラジオを持つと便利です。

③ 警戒レベル4で全員避難しましょう

お住まいの地域に土砂災害警戒情報（警戒レベル4相当情報）が発表されたら家族・親戚や地域内の方々に声をかけあい、早めに近くの避難場所など、安全な場所に避難しましょう。特に、お年寄りや障がいのある人など避難に時間がかかる人は、移動時間を考えて早めに避難させることが大切です。夜中に大雨が予想される場合には、暗くなる前に避難しましょう。

## 土砂災害

# 土砂災害の前兆現象 にも注意しましょう

土砂災害を発生させる現象には、主に「がけ崩れ」「地すべり」「土石流」の3つの種類があり、これらが発生するときには、何らかの前兆現象が現れることがあります。

### がけ崩れ

- ・がけにひび割れができる。 ・小石がパラパラと落ちてくる。
- ・がけから水が湧き出る。 ・湧き水が止まる。
- ・地鳴りがする。

#### がけ崩れ特徴…

斜面の地表に近い部分が、雨水の浸透や地震などでゆるみ、突然、崩れ落ちる現象。崩れ落ちるまでの時間がごく短いため、人家の近くでは逃げ遅れも発生し、人命を奪うことが多い。



### 地すべり

- ・地面がひび割れ・陥没している。
- ・がけや斜面から水が噴き出す。
- ・井戸や沢の水が濁る。 ・地鳴り、山鳴りがする。

#### 地すべり特徴…

斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象。土塊の移動量が大きいいため甚大な被害が発生。



### 土砂流

- ・山鳴りがする。 ・急に川の水が濁り、流木が混ざり始める。
- ・降雨が続くのに川の水位が下がる。
- ・立木が裂ける音や石がぶつかり合う音が聞こえる。

#### 土砂流特徴…

山腹や川底の石、土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流される現象。時速20~40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまうことも。



## 3 台風から 身を守る

初夏から秋にかけては、台風はもちろん、大雨、洪水、ゲリラ豪雨などの自然災害が発生しやすい季節になっています。

被害を出来るだけ少なくするためにも、対策を行いましょ。

### 屋外の備え

- 窓や雨戸はしっかりと閉める。必要に応じて外から板を打ち付けるなどして補強する。
- 排水溝や側溝は掃除をして水はけをよくしておく。
- 鉢植えやゴミ箱など風で飛ばされそうなものは、飛ばされないように固定したり、家の中へ格納したりする。



### 屋外の備え

- 窓や雨戸をしめ、窓ガラスが割れたときの飛散を防ぐために飛散防止フィルムを貼っておく。
- 外からの物が飛んできた場合に備え、カーテンやブラインドを閉めておく。
- 停電時に備え、携帯ラジオ、懐中電灯、ローソクなどを用意しておく。
- 避難が必要になったときに備え、防災グッズや水、食料などを用意しておく。



災害は時に多くの命を奪います。そして災害はいつ来るかわかりません。いつ来てもいいように対策をすることが大切です。少しの対策で被害を減らせることができるかもしれません。あなたとあなたの大切な人の命を守るため日々意識して生活しましょう。